

国際学会出張報告書

理学研究科物質理学専攻(化学系)有機化学研究室

博士前期課程2年 松原 聡志

出張先

北海道札幌市白石区 札幌コンベンションセンター

出張期間

2019年7月21日～2019年7月26日

出張目的

国際学会、The 18th International Symposium on Novel Aromatic Compounds (ISNA-18)に参加し、芳香族化学についての情報収集およびポスター発表による研究成果報告を行うことを目的とした。

概要

ISNA-18は芳香族化合物を用いた合成化学や材料科学を対象とした国際会議であり、隔年行われている。今回は日本の札幌コンベンションセンターで開催され、plenary およびinvited lecturesを含む92件の講演と354件のポスター発表がなされた。私は「Synthesis of negatively curved polyaromatics by octagon-forming annulative coupling」といった題目でポスター発表を行った。

所感

世界中の研究者が芳香族化合物にかかわる最先端の研究について議論する ISNA に今回参加することができ、得られたものは多い。私にとって、このような大規模な国際学会へ参加したことは初めての経験であった。多数の講演およびポスター発表は幅広い分野にわたり、これらから世界中の最新の芳香族化学について広く学ぶことができた。また自身のポスター発表では世界各国の研究者と活発な議論を行うことができた。海外の先生に研究のことだけでなく私の英語についても良いねとおっしゃっていただけたことは自信になった。今回の出張によって、今後も研究や英語学習に懸命に取り組んでいこうと思えた。



ポスター発表前の様子